

会議状況等報告書

会議の名称	第2回大府市緑化推進委員会
日 時	令和7年9月19日(金) 10時00分～
場 所	大府市役所 5階 委員会室I
出席者	樋口委員長、水谷副委員長、服部委員、只井委員、深谷委員、池田委員
	伊藤部長、池村課長、保坂係長、鎌田主査、山田主任、今村技師、鈴木主事

1. あいさつ

樋口委員長あいさつ

2. 議題

(1) 大府市緑の基本計画の実施状況について【資料1】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員長) 民有地の緑化の植栽本数が昨年に比べ減っているが要因は何ですか。

事務局) 市では記念樹の配布や、信託木の配布等の実績を計上しているが、宅地の新築に伴う都市緑化推進事業補助金の申込み数が少なかったことが影響している。

委員長) 宅地の増減が大きな増減の要因になるとは考えにくい。

事務局) 昨年は民有地緑化の本数の集計方法が少し特殊だった。庭に芝生等の地被を多く植えた宅地があった。面積で報告を受けた地被を本数に換算し、その数を計上した昨年度は実績数が多くなった。

委員長) 地被は多くの人が考える木とは違うと思われるので、集計方法は検討が必要と感じた。

委 員) ニツ池公園のコナラが倒れたと聞いている。市内の樹林地の管理はどのように対応していくか。

事務局) 知多農林水産事務所等、関係各所から助言をもらいながら点検や樹木剪定を検討している。

委 員) 倒木の原因は何だったか。

事務局) ナラ枯れを起こしていた。それが原因で木が弱り、キノコが生えて空洞化が起きてしまっていた。先日、知多農林水産事務所と立会を行ったが、ナラ枯れを起こす要因の虫が木に入ってしまったようであった。今後はできるだけ園内の木の剪定を進めていく。

委員長) 市民意識調査の結果だが、前回調査より満足度が減っている。満足をしていない人の年齢層等、実態がわかるようなデータがあれば知りたい。

事務局) 今回の資料では記載していないが、市民意識調査はクロス集計をしており年齢等でデータが出ている。データを見ると20代の満足度が高く、高齢者になると満足度が低くなっている。居住年数で見ると年数が浅い人の満足度が高く、年数が長い人になると満足度が低くなっていた。住み慣れた高齢者からすると都市化の進行からか満足度が低くなる傾向であった。

委員長) 都市化の影響で高齢者の満足度が低いのは理解できる集計内容であった。今後の緑化活動啓発に参考にできる。今後その世代にどう情報を届けるかが課題だ。委員の皆さんも今後良い意見があれば議論していきたい。

○「大府市緑の基本計画の実施状況」の内容について承認。

(2) 次年度の取組について

①(仮称)シビックガーデン写真展について【資料2】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) 募集点数は3点までとの事だが、同じ場所で3枚写真撮っていいのか、3か所の写真のどちらか。

事務局) どちらでも応募が可能である。できるだけ多くの人に参加していただきたいので、個人は個人名義で、団体は団体名義参加して欲しいと考えている。両方の応募も可能とする。

委 員) 高齢の方はインターネット応募が苦手な方がいるので配慮を検討しているか。

事務局) 窓口に来ていただければ応募の補助はするつもりである。ただ、今後デジタル化の流れもあるため、デジタルの活用には理解をいただきたい。

委 員) 過去のコンテストでは参加年代が高めであった。今後同世代からの参加があると考えたと応募の際の手助けをしてもらえれば多くの参加者が集められると思う。

委 員) 展示の際はニックネームも問題ないか。また応募条件である「自身で管理する花壇等」という条件の確認が難しいが、性善説で応募を受付けるとのことか。

事務局) そうなります。

委員長) 対象として「道路から眺望できる若しくは不特定の人立ち入って見ることができるところ」とあるが、それだとマンションや自身の裏庭でガーデニングをしている人は対象にならないと感じたが。

事務局) 写真展を実施した後の展開を考えた時、写真展で掲載した写真を見た人が現地に行ってみることができの方が良いであろうと考えた。

委員長) 応募期間を見ると6月から8月であるため、秋、冬の写真が集まらない可能性が高いがどう考えているか。

事務局) 写真を展示した後に参加者の交流を兼ねて寄せ植え講座を検討している。寄せ植えをする花が揃えやすい季節を考えた時にこの応募期間になった。最初の年は様々な季節の写真は集まらないかもしれないが、毎年行われることが市民に周知されれば、応募者がそれぞれの季節の写真を用意し応募してくれると期待している。

委 員) 撮影時期は限定しないということによかったか。

事務局) 限定しない。応募者には撮影時期を記載してもらい、もし応募者の了解がとれればホームページ等での紹介を検討している。

委 員) 商工会議所が開催しているイベントでフォトコンテストを行っているがそれに近いものと考えてよいか。

事務局) 作品応募者が手掛けている庭などを対象としているため、少し対象者は違ってくるとは考えている。

委 員) 近年、夏は気温がかなり高いため夏の写真は集まりにくいかもしれない。

委 員) 写真の編集や加工の制限はある程度必要ではないかと感じた。

事務局) 加工については運用していく中でどこまで許容していくか検討したい。

委 員) 寄せ植え講座を行った際に次年度の写真展をPRして広く知ってもらえるようにするとよい。

委員長) 今回の審議結果を受けて、次回の会議でまた検討議案になっていくか。

事務局) 今回の意見を踏まえ、予算措置等の修正をしていく。次回の会議では事務局で決定した案を報告したい。

○「(仮称)シビックガーデン写真展」の内容について承認。

②令和8年度愛知県植樹祭について【資料3】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) 配布する苗木ムクゲを選定した理由を教えて欲しい。

事務局) 苗木が強く、小学生でも育てやすいためである。また本市では韓国の洪城郡と交流があり、ムクゲが韓国の木ということもあり選定した。

委 員) 育てた苗木はどこかにまとめて植えるのか。

事務局) 植樹祭に来場した人に配布します。

委員長) みどりの標語、ポスターの選定についてどうしていくか。

事務局) まず、事務局で数を絞り、次回会議で示す。その中から入選作品を選定してもらいたい。ポスターについては入選作品の中から最優秀賞等を市長等に決めてもらう予定である。

(3) その他

③市民健康広場整備事業について【資料4】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員長) 広場の整備自体は良いことであるが、整備後は広場を活用した展開を考えているか。

事務局) 活用については検討中である。

④二ツ池公園里山林整備事業について【資料5】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) シンボルツリーになるアスナロはどれぐらいの大きさのものを植える予定か。また愛知県植樹祭の会場になるとの事だが、来場者はどれぐらいを見込んでいるか。

事務局) アスナロの木は1本、入口になる箇所には7メートル程度のものを植える。植樹祭の参加者は愛三文化会館で行う式典は400人程度、植樹会場には200人程度の来場を想定している。

◎今年の酷暑の中での緑化活動について

委員長) 今年の夏の暑さで緑化活動は苦労が多かったと思うが、工夫したことがあれば教えて欲しい。

委員) 鉢植えをした花の水やりが大変であった。暑さの影響かナメクジの発生が多くあり、駆除に苦労した。

委員) 夏の暑さを考えた植物を選んで植える家庭が増えているように感じた。時代の変化で昔に比べドライガーデンやロックガーデンが増えた。日中は暑いので水やりも早朝から行っていた。近年、共働きの家庭も増え、ガーデニングをする家が減っている。緑の大切さをどうやって知ってもらえるか日々考えている。

委員) フジバカマの育成をしているが酷暑で多く枯れてしまった。

委員) 大府駅西側をよく利用するので見ているが、枯れた木を植え替えてもらっても酷暑ですぐに枯れてしまっている。今後植え替える際は水やりや枯れないよう補償してもらえるような方法を検討して欲しい。枯れる木がある一方で雑草は良く伸びて通学路で蛇を見た。

委員) 庭の水やりに苦慮した。人間が手を入れてきれいにした植栽も良いが、自然に任せた植栽もあっても良いのではないかと感じた。

委員長) 今回の意見を聞いて、事務局でも緑化活動や管理で苦労した点があれば話して欲しい。

事務局) 植栽については暑さに強い樹種を検討する必要があると感じている。雑草については生えにくくするためにできる対策はないか検討する必要があると感じている。また通学路になっている場所で植栽帯の定着が難しい箇所については歩道拡張する代わりに植栽帯の廃止をして雑草対策にも寄与することを検討している。

委員長) 今後の本市の緑化活動を市民とともに考えていく中で、市民との懇話会を開催して意見を聞き取りする場を設けて市の緑化推進に活かしてもらえると良いのではないか。

委員) 北海道にいる人で様々なボランティア団体の活動を牽引している人がいる。そういう人を講演会に呼んで、市民の方の活動に活かしてもらえると良いかもしれない。

委員長) 大府市は市民協働を他の自治体に比べ大事にしていると思うので、市民と自治体が互いに歩み寄りながら緑化維持活動ができるようになれば良い。

(4) 次回の開催予定について

令和7年11月17日(月)の予定